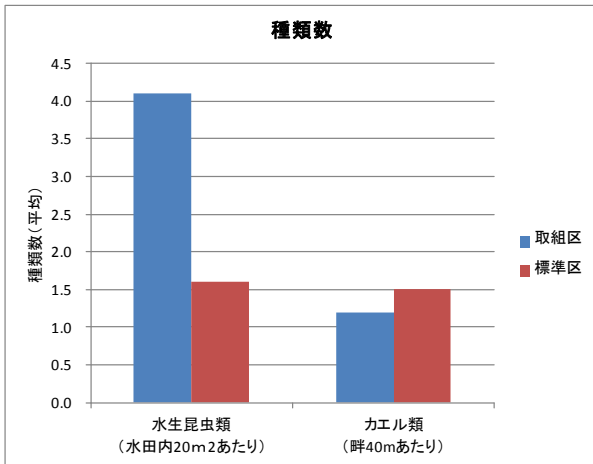


中干延期

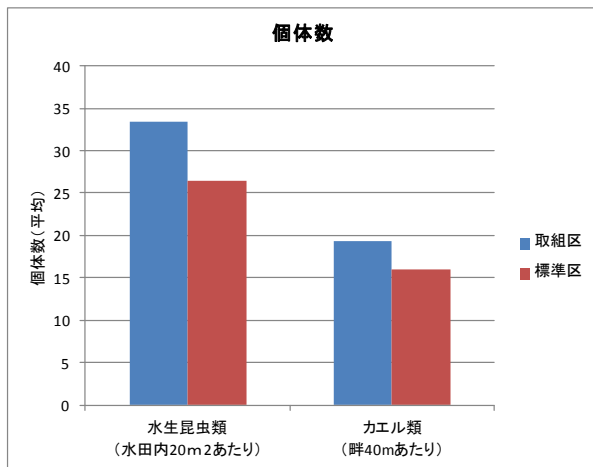
取組区と標準区の比較

調査地点数: 12地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	4.1	1.6	33.4	26.4	1.20	0.29
カエル類(畔40mあたり)	1.2	1.5	19.3	16.0	0.10	0.42

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



取組区の水田(越前市)



取組区の水田でカエル類を狙うシマヘビ



取組区の水田で確認されたハイロゲンゴロウ

中干延期の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類の種類数及び個体数、カエル類の個体数について、取組区のほうが多くなる傾向が認められた

多様度指数は、水生昆虫について取組区の方が高くなる結果となった。